

平成23年度 環境目的及び目標一覧表 (上田地域)

【環境負荷事業活動（日常業務活動）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
エコオフィスうえだの推進	行政の率先行動による環境負荷の低減	1	「エコオフィスうえだ」に基づき、日常業務活動に使用する物品等（用紙類の使用や電気・ガス・水道等）の削減に努め、グリーン購入を推進します。		各課所長

【環境負荷事業活動（公共工事関係）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
				数値目標	
公共工事による環境負荷の低減	公共工事に伴う環境への負荷低減を図る。	1	「上田市公共工事配慮指針」に基づき公共工事に伴う負荷低減を図る。	環境配慮率平均	公共工事担当課長
				90%	

【環境負荷事業活動（その他）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
その他事務事業活動に伴う環境負荷の低減	行政の率先行動による環境負荷の低減	1	自治会への配布数及び回覧数を的確に把握するとともに周知徹底する。	把握及び周知徹底の実施	関係課所長

【環境保全事業】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
新エネルギーの利活用を推進	行政の率先行動による環境保全活動	1	新エネルギー・省エネルギー利用施設に対する補助金の交付	交付件数	関係課所長

【環境保全事業（その他）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
上田市環境基本条例の基本理念に基づく各種環境保全施策	行政の率先行動による環境保全活動	1	地域及び住民等への環境啓発活動の推進	各担当課所により指標は異なる	関係課所長
		2	地域美化活動の推進	各担当課所により指標は異なる	関係課所長
		3	緑あふれ、調和のとれた美しい景観を保つ	各担当課所により指標は異なる	関係課所長
		4	歴史・文化を未来に行き継ぐ	各担当課所により指標は異なる	関係課所長

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち				
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-1	20	一般地域における騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域の測定定点による定期的な観測により、環境基準の類型ごとに達成率を算出し、監視します。 (目標:平成23年度 100%)	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。	測定定点11地点を秋以降に実施する。	生活環境課
1-1	21	道路交通騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	道路に面する地域の測定定点による定期的な観測により、平成17年度導入した面的評価システムを用いて、個々の住宅すべての騒音推定値により環境基準達成度を算出し、監視します。(平成23年度100%)	継続実施している道路に面する地域の騒音調査を実施する。	100%実施	生活環境課
1-1	22	新幹線鉄道騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の定期的な観測により、環境基準の達成について監視します。(100%定点基準達成)	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定ヶ所2地点(下堀地区)	100%実施する。	生活環境課
1-1	55	市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年320,000台	管理課
1-1	69	循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	地域交通政策課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち				
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-2	18	地下水水質調査及び検査 (硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の監視)	土壌・地下水の保全	定期的な調査により、地下水質の環境基準の達成について監視します。	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	生活環境課
1-2	26	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	生活環境課
1-2	74	下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発(随時) ・戸別訪問の実施(随時) ・水洗化促進懸垂幕・のぼり旗・ポケットティッシュ等水洗化啓発掲示物の作成と活用 ・下水道未接続者に対する啓発文書発送	水洗化率 ・平成23年度末の下水道水洗化(利用)率を86.2%に向上させる。 確認申請件数 ・700件を目標とする。	サービス課
1-2	75	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 戸別音聴調査箇所25,000箇所	漏水箇所数及び推定漏水量	上水道課
1-2	76	鉛給水管布設替え	安心安全な水道	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 400件 故障修繕対応 180件 水道本管工事対応 20件 計 600件	布設替件数	上水道課
1-2		公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○管渠の整備 L=6.8km ○処理場の整備 南部終末処理場 増設(汚泥処理施設) 上田終末処理場 改築(汚泥処理施設)	普及率 平成23年度末目標74.2%(上田地域97.9%)	下水道課
1-2	77	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②需要量に見合った適正な取水量管理 ③浄水場泥土の適正な処理処分委託 ④河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/L以下 末端給水栓水 通常0.1mg/L以上 ②配水量の120%程度 ③全泥土量の5割程度を処理処分委託 ④検査回数	浄水管理センター
1-2	78	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/L以下 末端給水栓水 通常0.1mg/L以上 ②検査回数	浄水管理センター(丸子管理係)

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち				
環 境 保 全 項 目			有害化学物質による汚染を未然に防止する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-3	19	地下水水質調査及び検査 (低沸点有機化学物質の監視)	有害化学物質による汚染の防止	地下水質の低沸点有機化学物質の環境基準の達成について監視します。	市内13地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエレン、テトラクロレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエレン、テトラクロレン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	生活環境課
1-3	23	ダイオキシン類の環境汚染調査	有害化学物質による汚染の防止	大気、河川、土壌などにおいて、ダイオキシン類汚染状況を調査・測定し、その結果を公表するとともに、有害物質に関する情報を提供します。	年一回、一般環境大気4ヶ所、河川4ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	生活環境課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち				
環 境 保 全 項 目			森や里山を守り・親しむ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-1	52	造林事業	森林の育成・保全	県の森林税等を活用して私有林150haの間伐を推進し、健全な森林を育成する。	①私有林間伐150haの実施	①間伐の実施面積	森林整備課
2-1	53	松くい虫防除対策事業	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	被害木伐倒薬剤処理 V=8,000m3	①被害木8,000m3の伐倒薬剤処理	①被害木の処理量	森林整備課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち				
環 境 保 全 項 目			水辺環境を守り・親しむ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-2	17	河川水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内16地点の検査を実施し、年2・4回調査する地点も含め計35地点の検査により水質監視する。	生活環境課
2-2	29	河川清掃計画・実施	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します。	河川清掃 年2回	・矢出沢川・蛭沢川等の主要河川の清掃実施(春・秋2回) ・下排水路の清掃実施(春・秋2回)	生活環境課
2-2	30	河川愛護活動	自然の保全・活用	河川環境の保全活動を推進します。	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 52団体	生活環境課
2-2	54	① 多自然型水路整備 ② 農地・水・環境保全向上対策への支援	1 自然・生き物・人が共生するまち 5 環境を思いやる人があふれるまち	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。 ② 非農業者も加えた地域の協働による、農業施設や環境の維持保全活動を支援します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 13組織を支援する。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 地域住民全体で環境意識を共有する。	土地改良課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち				
環 境 保 全 項 目			農環境を守り・親しむ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-3	50	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成22年度 80ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 242ha →23年度目標 80ha	農政課
2-3	51	稲倉棚田の保全	棚田の保全と活用	棚田の景観を保全します。 (荒廃した棚田の有効活用)	①田植体験の受け入れ 2校 ②棚田オーナーの取組 27組受入 ③ほたる火まつりの実施 ④堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	①田植体験の受け入れ ②棚田オーナーの取組 ③堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	農政課
2-3	111	遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る(数値目標 平成23年度 遊休荒廃農地解消面積 5ha)	遊休荒廃農地の解消(遊休荒廃農地解消対策委員会、地区審単位での解消)	補助事業等による遊休荒廃農地解消目標面積 22年度末5ha/年 ⇒23年度目標約5ha/年(行政と連携して解消)	農業委員会事務局

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち				
環 境 保 全 項 目			循環型社会の形成に努める				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-1	39	ごみ減量・再資源化対策事業①	循環型社会の形成に努める	廃棄物を減量し、リサイクルを推進します	1 剪定枝木類の資源化 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 3 焼却灰のリサイクル 4 生ごみ堆肥化モデル事業	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	廃棄物対策課
3-1	40	ごみ減量・再資源化対策事業②	循環型社会の形成に努める	ごみ減量・リサイクル活動の普及啓発を推進します	1 市民への周知、啓発 2 講座等の開催 3 市民、事業者の環境保全活動の支援	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	廃棄物対策課
3-1	68	樹木の剪定等	廃棄物の減量と資源再利用の促進	剪定された樹木等のリサイクル化を図る。	剪定樹木の有効利用 ①チップリサイクル化の推進 ②燃料としての使用	有効利用95% ①剪定木をチップリサイクル化 ②剪定木を燃料としての使用	公園緑地課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち				
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2	1	実施計画・総合計画の策定	循環型社会形成の形成に努める、地球温暖化防止活動を推進する、地域資源を有効活用する	環境配慮項目の導入、環境配慮事業の優先実施に向けて仕組みづくりを進める。	1 庁内協議 2 査定 3 公表	◆環境配慮事業数 1 ◆資料提出部数 5部 (その他必要分は両面コピー) ◆査定資料印刷枚数 対前年10%程度削減	政策企画課
3-2	3	交流・文化施設整備事業	環境にやさしい施設づくり	環境負荷の少ない施設となる構造、設備、運営管理方法の検討	・整備用地の取得 ・基本設計 ・実施設計 ・運営管理計画策定に向けた検討	・基本設計で環境配慮度の充実 ・実施設計で具体的に設計に盛り込む	交流・文化施設建設準備室
3-2	4	産院移転新築工事の諸調整、進行管理	環境にやさしい施設整備	環境負荷の少ない施設建設	・産院建設工事に係る諸調整	・工事終了時での環境配慮策の充実度	産院建設準備室
3-2	5	農村環境改善センターの維持管理	施設利用者の安全と電気・水道・暖房等の使用量の抑制を図る	エコオフィスうえだに基づき、地球環境の保全に取り組む	①事務室内温度、冬20℃・夏28℃に設定 ②センター利用者へのエコオフィスのPR ③水曜日の資源回収時の指導 ④コピー用紙の両面使用の推進	電気使用量53,000KWh、水道使用量400m³、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量2,000ℓ、LPG使用量50m³、コピー使用量30,000枚、可燃ごみ排出量150kg	豊殿地域自治センター
3-2	7	塩田地区有線放送所の局舎解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整	環境にやさしい撤去工事を推進する	環境負荷の少ない、地球環境に配慮した撤去工事	塩田地区有線放送所の局舎等解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整		塩田地域自治センター
3-2	9	職員の管理に関すること	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月20日～10月31日)	・実施状況の把握	人材開発課
3-2	10		コピー用紙の削減による環境配慮	本庁及び教育委員会のコピー用紙の削減		平成23年度 9,000,000枚	行政管理課
3-2	13	電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 27業務	情報推進課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち				
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2	14	予算編成	①望ましい環境像の実現を支える行財政運営 ②エコオフィスの推進	環境に配慮しつつ、効率的な行政経営を目指した予算編成	①選択と集中による効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策への予算配分 ③予算編成事務の効率化	①効率的・効果的な行政経営 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策実施 ③持続的で安定的な財政基盤の確立 ④予算編成事務量の削減	財政課
3-2	15	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	公有財産管理課
3-2	16	印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当っては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・紙面の有効活用(利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る)	市民課
3-2	24	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 250件	生活環境課
3-2	25	雨水貯留施設設置補助	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設に対する補助の実施	補助金交付件数 25件	生活環境課
3-2	33	エコオフィスうえだ(上田市役所地球温暖化防止実行計画)の推進	地球環境の保全・行政の率先行動	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	・「第二次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。	全庁舎の温室効果ガス総排出量	生活環境課
3-2	35	アイドリングストップ運動	きれいな空気の確保	アイドリング・ストップ運動を推進します。	広報などによる啓発活動		生活環境課
3-2	41	市営住宅の管理	①環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.00%以上	住 宅 課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち				
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2	42	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う		点字図書館
3-2	44	国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減		23年度のコピー枚数目標 120,000枚(22年度実績値×97%)	国保年金課
3-2	47	「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進 エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件 (制度の主旨・目的)	商工課
3-2	48	池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当りの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当りの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当りの電気量5kwh以下。	池波正太郎真田太平記館
3-2	71	財務会計事務の改善	環境に配慮した事務事業の改善	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	①例年実施する研修会の開催に加え新財務会計システム研修会も開催 ②適正帳票率の向上 ③支払伝票の削減	①適正帳票率・・・97.0% ②支払伝票件数・・・100,000件	会計課
3-2	79	小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	傍陽小学校への太陽光発電システムの導入	太陽光発電システム(10Kwh)の設置	教育総務課
3-2	80	給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少とBDF燃料の利用)	①おいしい給食づくり ②配送車にBDFを利用 ③地産地消(地元産農産物の使用) ④残菜量の削減	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元産農産物の使用量 ④残菜量の調査・減量指導、畜産飼料への活用	第一学校給食センター
3-2	81	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	第二学校給食センター

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち				
環 境 保 全 項 目			地域資源を有効利用する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-3	49	ホームページ、QRコードを使用した観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内をします。	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。	観光課
3-3	70	施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1計画・設計における環境配慮 2工事施工における環境配慮	別紙様式G1のとおり	建築課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち				
環 境 保 全 項 目			歴史・文化を未来に引き継ぐ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-1	98	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録を2件以上指定	文化振興課
4-1	100	環境への負荷の低減に係る啓発事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ。地域の歴史・文化・誇りを次世代に伝える。	利用者への環境啓発(掲示)・事務の効率化の推進	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。事務の効率化(納付書の活用)を図る。		市民会館
4-1	101	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	博物館
4-1	102	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	丸子郷土博物館
4-1	103	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	武石ともしび博物館

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち				
環 境 保 全 項 目			歴史・文化を未来に引き継ぐ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-1	104	記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	山本鼎記念館
4-1	105	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	信濃国分寺資料館

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち				
環 境 保 全 項 目			緑あふれるまちをつくる				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-2	64	公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	① 音楽村周辺公園整備 0.58ha ② 長池公園整備工事 バリアフリー ③ 山王公園整備工事 トイレ水洗化	旧丸子の一人当たり都市公園面積を11.0㎡/人目標する。	公園緑地課
4-2	65	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 120,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数(120,000本)	公園緑地課
4-2	66	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 750人 ・種から育てる花づくり講習会の開催4回	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 750人) ・花づくり講習会 開催回数 年間4回	公園緑地課
4-2	67	緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年7回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	公園緑地課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち				
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-3	27	ポイ捨て等防止条例に基づく美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進します。	環境美化監視員によるパトロール ポイ捨て防止チラシを配布(成人式)	環境美化監視員によるパトロール回数 月3回 ポイ捨て防止啓発チラシの配布 最低1回	生活環境課
4-3	28	ゴミゼロ運動の実施	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します	・広報への掲載 ・庁内掲示板への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回)…地区別に4回に分けて実施する	参加者人数 10,000人	生活環境課
4-3	38	犬猫の糞尿害対策	うるおいやゆとりある都市空間の形成	犬猫の糞尿害等に対する対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知・看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 39件以下	生活環境課
4-3	56	放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年450台以下	管理課
4-3	57	歩道のバリアフリー化	調和のとれた美しい景観を保つ	歩道のバリアフリー化を推進します。	・歩道新設 L=3,000m(うち前年度繰越分)L=550m ・繰越分の早期完成を目指し、本年度分の早期発注に心がける。	・工事の完了実績による。	土木課
4-3	59	景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	・市広報、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長200m)	都市計画課
4-3	60	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観形成市民団体等の認定	アダプトシステム協定を取り交わす地域住民団体等の検討	景観形成市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	都市計画課
4-3	61	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	住民協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	住民協定締結の誘導に向け地区の検討	認定数(1)	都市計画課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち				
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-3	62	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	都市計画課
4-3	63	景観形成事業	上田市景観計画の策定	良好な景観の形成及び保全を推進するため、上田市景観計画を策定します。	・景観計画策定に対する意見聴取のための住民説明会の開催。 ・景観計画策定専門委員会において素案の決定。 ・景観審議会、都市計画審議会、パブリックコメントにより素案の審議。	今年度の事業の具体的な施策や手段の進捗状況	都市計画課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1	8	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ビン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④ポスター掲示による啓発 ⑤窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	川西地域自治センター
5-1	31	うえだ環境市民会議に関する事務	パートナーシップの構築	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議の開催	環境改善活動への支援・協力活動が円滑にできること	生活環境課
5-1	34	環境教育の推進	環境を思いやる人があふれるまちを目指します	保育園・小学校・中学校及び地域での環境教育・環境学習活動へ支援・協力します	こどもエコクラブの周知及び登録クラブへの支援・協力 こどもエコガイドの配布(小学4年生対象) 保育園・学校・地域への環境教育等の支援・協力		生活環境課
5-1	45	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ぱっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	保育課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1	58	交通安全事業 (コロペタ大作戦)	環境にやさしい人を育む	市民協働による歩行エリアのカラー舗装を推進し歩行者の安全対策及びコスト縮減を図る。	・カラー舗装 ・10路線 L=3,000m W=0.7～1.0m	・作業の完了実績による。	土木課
5-1	73		水環境の保全を図る	水環境の保全のための啓発活動を行うと共に、保全活動も行う	住民環境啓発		経営管理課
5-1	82	環境にやさしい学校づくり事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・光熱水費削減の取り組み結果を評価し、環境教育の推進に資するための予算を各学校へ追加配当する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成し、実行する	学校教育課
5-1	83	学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りで行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校(16校)の5年生 1,152人 ・平成23年度の耕作面積 18,182㎡(保全農地面積)	学校教育課
5-1	84	YAっHOーの発行	環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	生涯学習課
5-1	85	自然活動体験教室事業	川遊びやキャンプを通じて、身近な自然とのふれあい	自然体験活動事業を年3回実施する。	千曲川、峰の原高原や武石巣栗溪谷等での川遊び、キャンプ、自然体験活動を通じて、市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう。	自然活動体験事業を年3回開催する。	生涯学習課
5-1	86	地域青少年育成指導者養成講座	子ども向けのレクリエーションや野外体験活動などの指導者を養成する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年4回以上開催する。	ネイチャーゲーム・応急処置・親子レクリエーション・野外活動の講習会、自然・キャンプ体験教室、里山遊び体験教室を開催する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年4回以上開催する。	生涯学習課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1	87	各種講座・里山づくり支援	地域における環境保全活動及び住民への環境啓発の推進	市民の環境に関する意識の啓発を図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使った料理教室(年12回) ・自然に親しむ講習会(年4回) ・太郎山自然観察会(年2回)・エネルギービジョン講座(年4回) 2 団体等への支援 ・里山づくり支援事業(年6回)	・すぐに効果は期待できないが、住民の環境に対する意識を高める。	西部公民館
5-1	88	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設:3講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数 参加者の満足度	城南公民館・解放会館
5-1	89	公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座 4回 野鳥観察講座 2回 水生生物観察講座 1回 工作教室 2回 人生いきいき講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 延べ13講座 参加者数 200人	上野が丘公民館
5-1	90	地域デザイン講座①「地域に緑の連続性を」	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対しての意識の啓発を図ります。	①「塩田に適した植栽とプロが教える花の育て方～地域に緑の連続性を～」と題し、この土地の気候、風土に適した植栽や緑の連続性との関係を知っていただく。 ②自然環境の大切さを知り、地球温暖化防止への第一歩にさせていただく。 ③里山講座を行う。	①参加者延べ人数 1講座20人 @20人*6回 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館・解放会館
5-1	91	「夏休み川遊びin神川」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	清流のすばらしさ、自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、 ②塩田平に関係深い千曲川の支流・神川で、遊びながら川に親しむ ③清流のすばらしさ、自然環境の大切さをを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館・解放会館
5-1	92	「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」と題し、公民館を避難所と想定し、避難所体験をする。 ②その中で、川等の水から飲み水を確保する訓練を通じ水の大切さを知る。 ③真っ暗な中で手作りランプで過ごし明かりの有難さを感じてもらい地球温暖化防止への一歩とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館・解放会館

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1	93	しおだっ子 自然観察ツアー「冬の菅平高原でスノーシューハイキング」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然の厳しさ、豊かさを知り自然環境の大切さを子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、 ②千曲川の支流・川の上流、真田菅平高原で、遊びながら川や自然に親しむ ③自然の厳しさ、豊かさを知り、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館・解放会館
5-1	94	公民館各種講座事業	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1住民環境啓発 2 講座実施 ① 里山講座 6回 定員20人 ② 川西子供広場 3回定員なし ③ 夜の自然観察会 1回定員なし ④ 親子自然観察会 1回 定員16人		川西公民館
5-1	95	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		上田図書館
5-1	96	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	本の紹介及び展示	環境月間中、テーマ本コーナーに環境関係の図書類の展示を行う。	展示関連本の貸出数・レファレンス数	上田情報ライブラリー
5-1	97	文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 100%	文化振興課
5-1	106	各種大会等パンフレットの作成	ごみ減量の促進	大会参加者等と協力して、ゴミの減量に努めます。	各種大会等	大会終了時のゴミ残量	体育課
5-1	107	自然を守り、環境美化活動	自然を大切に、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	自然運動公園管理事務所
5-1	108	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。	施設利用者数	自然運動公園管理事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-2	2	自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にしよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆ 無駄を排除した、適正回覧数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施	市民参加・協働推進課
5-2	6	地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に塩田地区自治会連合会、塩田地域協議会の活動に連動する中で事業を推進	物的効果がすぐに現れることは、難しいが目標に向けた取組み活動は、記録に残る。	塩田地域自治センター
5-2	12		環境啓発の実施	環境啓発の実施	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②市公式HPを活用した環境啓発活動	①啓発記事のページ数 ②環境関連記事へのアクセス数	秘書課
5-2	32	環境関連情報に関すること (情報の発信)	環境情報システムの整備	環境関連情報を発信します。	・ホームページの作成・更新 ・広報等へ関連記事を掲載 ・各課の通知文書やチラシ等に、環境関連のマーク・文言を加えるよう、機会をとらえて依頼する。	各種機会を捉え、環境について記事をまとめ、大きく広報に載せる。	生活環境課
5-2	36	ISO14001普及啓発	地球環境の保全	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステムに関する情報を提供し、支援します。	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部の活動などを通して、企業との情報交換・各種事業の実施	・各イベントの際に協力して実施すること	生活環境課
5-2	37	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	廃棄物の減量と資源再利用の促進	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェアの開催 10月15日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	生活環境課
5-2	46	「国際規格審査登録事業」助成金	環境にやさしい地域を育む	ISO1400等をはじめとする国際規格の取得に要した経費を助成することで、市内事業者の環境意識の向上を醸成する。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明10件 (制度の主旨・目的)	商工課
5-2	99			天然記念物の保護・パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発			文化振興課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち				
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する				
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-3	72	庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	4 環境情報システムの整備	57 環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る。	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チャレンジ25」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。	会計課

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
独	11	第二次上田市行財政改革大綱及びアクション・プランの策定	市民協働と成果及びコストを重視した効率的・効果的な行政経営を進める。	平成24年度から実施するために、平成23年度内に策定する。	・第二次上田市行財政改革大綱を策定する。 ・大綱の具体的な改革項目として「アクション・プラン」を策定する。	策定後は、市民に公表した上で改革に取り組むとともに、進捗状況についても公表する。	行政改革推進室
独	43	第5期高齢者福祉総合計画の策定	第5期高齢者福祉総合計画(平成24年度から3か年)策定に際し、環境保全・環境負荷軽減を図る取組み事項を設定する。	運動を通じた介護予防、介護用品購入に対しエコ商品勸奨、環境にやさしい住環境の整備などを計画項目に設ける。	・介護保険運営協議会に計画策定を図り、12月に報告書を提出。3月市議会において条例改正を提案する。		高齢者介護課
独	109	長野県議会議員一般選挙等執行事務	環境に配慮した選挙の執行	開票事務の効率化	長野県議会議員一般選挙(4月10日執行)	開票時間 投票率 ※投票率の向上が目標となるため、単純な開票時間の短縮ではなく、単位時間当たりの開票処理速度を効率化の指標とする。	選挙管理委員会事務局
独	110	各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(5月～10月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(4月～8月) ・行政監査(10月～2月) ・財政援助団等監査(9月～2月)		監査委員事務局